デザインの基本2

・文字をコントロールしよう見せる文字は 必ず字詰めを調整する読ませる文字は 読みやすさを念頭に ・レイアウトの基本レイアウトの基本4原則 近接 整列 反復 コントラスト 余白

・色の基本 RGB & CMYK色相·彩度·明度(HSB)で 考える 色彩心理配色 ・写真を選ぼう 写真選びのポイント 写真の使い方

デザインの基本2

- ・ 今朝見た広告、覚えてますか?
- ・ 「伝える」ために、何が必要?
- 基本のデザイン要素
- フォントを選ぼう
- フォントによって与える印象が違う
- フォントの大別
- 書体によって選ぶ
- ウエイトによって選ぶ
- 使いどころによって選ぶ

今朝見た広告、 覚えてますか?



大事な前提ひとは「見ない」「読まない」「わからない」

```
ひとは見てません ......では、見てもらうためには?
ひとは読みません .....では、読んでもらうためには?
ひとはわかりません .....では、わかってもらうためには?
```

見て・読んで・わかってもらうものづくり

■「他人ごと」にしない

「自分ごと」になるようにターゲットを絞る ターゲットに合った言葉・色・写真・フォント

■詰め込みすぎない

ぱっと見れば何を伝えたいのかストレートにわかる 一見して要点が読みとれる

■飾りすぎない

全体が散漫になり、メッセージが薄まって見流される 「デザインは引き算」

「直感的に伝わるか」

を最後まで念頭においてデザインする。

「伝える」ために、何が必要?

基本のデザイン要素 文字・レイアウト・色・図版



基本のデザイン要素

文字

伝えたいイメージに合わせたフォント選び。 要点が一瞥して伝わる見出し。 読みやすい文字組み。

■ レイアウト

レイアウトの4原則「近接·整列·反復·コントラスト」 余白

基本のデザイン要素

色

ターゲットユーザーに合わせた色選び。 アピールポイントに自然と目が行く配色。 ストレスの無い読みやすい配色。

■ 図版

ターゲットユーザーの目を引く写真(またはイラスト)。 わかりやすく図示する(グラフ、フローチャートなど) ちゃんとたどり着ける地図

フォントを選ぼう

フォントの印象と

文字の見やすさ・読みやすさが重要

使うフォントは2~3種類まで



フォントによって与える印象が違う

- 1 Sleeping Beauty
- ² Sleeping Beauty
- 3 Sleeping Beauty
- 4 Sleeping Beauty
- 5 Sleeping Beauty
- 6 Sleeping Beauty
- Sleeping Beauty

まじめな眠り姫

エレガントな眠り姫

気取らない眠り姫

色気のない眠り姫

ゴスロリの眠り姫

ホラーの眠り姫

赤ちゃん眠り姫

フォントによって与える印象が違う

- 1 Sleeping Beauty
- ² Sleeping Beauty-
- 3 Sleeping Beauty
- 4 Sleeping Beauty
- 5 Sleeping Beauty
- 6 Sleeping Beauty
- ② Sleeping Beauty 赤ちゃん眠り姫

- まじめな眠り姫
- エレガントな眠り姫
- 気取らない眠り姫
- 色気のない眠り姫
- ゴスロリの眠り姫
- ホラーの眠り姫

フォントの大別 和文

明朝体

きれいな書体とデザイン ヒラギノ明朝 Pro

きれいな書体とデザイン 小塚明朝 Pr6N

きれいな書体とデザイン 華康明朝体

きれいな書体とデザイン リュウミン Pro

ゴシック体

きれいな書体とデザイン ヒラギノ角ゴ Pro

きれいな書体とデザイン 小塚ゴシック Pr6N

きれいな書体とデザイン ^{華康ゴシック}

きれいな書体とデザイン _{新ゴ Pro}

フォントの大別 欧文

セリフ体

Typography

Century

Typography

Adobe Garammond Pro

Typography

Book Antiqua

Typography

Times New Roman

サンセリフ体

Typography

Arial

Typography

Futura

Typography

Gill Aans

Typography

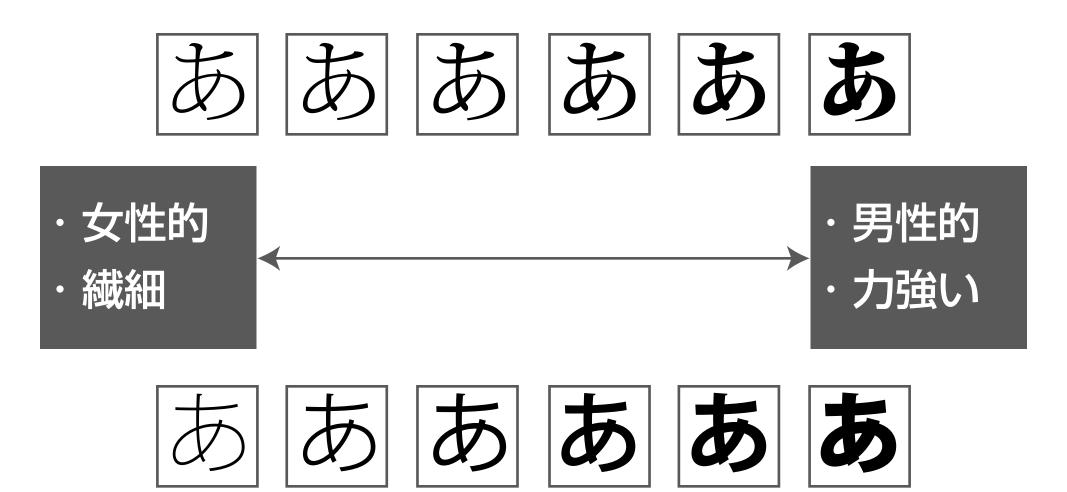
Verdana

書体によって選ぶ

筆書体 明朝体 手書き文字 ゴシック体 ・きちんと ・誠実 信頼感 ・落ち着き 筆記体 手書き文字 セリフ体 サンセリフ体

- ・親しみ
- ・カジュアル
- ・陽気
- ・元気

ウエイト(太さ)によって選ぶ



使いどころによって選ぶ・・・見せる文字

キャッチコピー、タイトル

書体の印象を生かして選ぶ ぱっと見ても読める、判読性の高いフォントがベター

■ 見出し

視認性の高いフォント(太いゴシック体、サンセリフ体など) 見出しを目立たせることによる効果 そこだけ読めば全体像がわかる

情報のまとまりが把握できる 画面にリズムが生まれる

使いどころによって選ぶ・・・読ませる文字

本文

可読性の高いフォント(細い明朝体や細いゴシック体など) 太いフォントで長い文章を書くと画面が黒々して しまうので、可読性が下がる

「見せる文字」と「読ませる文字」で フォントを選ぼう

文字を コントロールしよう

「見せる文字」は字詰めをきっちりと 「読ませる文字」は読みやすさを念頭に



見せる文字は、必ず字詰めを調整する

カタカナや拗音(小さい「ィ」など)、 ひらがなの「く」「り」などは左右が空くので詰める

> タイポグラフィ 美しく「文字」を組む

タイポグラフィ 美しく「文字」を組む